「広島県建設分野の革新技術活用制度」登録技術の活用事例

技術名称 :PVB樹脂塗装ロックボルト(AS345-Pボルト)　　登録事業者：岡部株式会社

様式２

①　技術概要・概要図

・従来技術のシースと溶融亜鉛めっきを溶融亜鉛めっきとPVB樹脂にすることでシースが不要となり経済性および省力化が図れる。
・鉄筋挿入工の補強材に溶融亜鉛めっきとPVB樹脂を塗布し2重防錆により耐久性を向上させ、長寿命化が期待できる製品である。



AS345-Pボルト

②　設計・施工等の概要

項目	概　要
年　度	令和7年度
発注機関	広島県土木建築局
事業名	西上条地区　急傾斜地崩壊対策工事
対象地	広島県竹原市
工　期	令和7年6月～令和8年2月
数　量	D19　162本

③　活用に至った現場条件や経緯

従来技術は、補強材の地表部に近い腐食しやすい部分にシースを併用して防錆していたが、溶融亜鉛めっきとPVB樹脂にすることで耐久性が向上し、シースが不要となることで、経済性および施工性についても向上するため。

④　活用効果（本事例における効果）

PVB樹脂の耐薬品性試験および付着性試験を実施し高い性能を確認しているため、耐候性・付着性に優れ従来技術と比べ構造物の長寿命化が図れる。
湧水や浸透水が多い箇所でもAS345-Pボルトは耐久性が高い製品のため、安定した品質を確保できる。

⑤　活用状況写真



検尺状況



補強材挿入状況



グラウト注入状況



頭部処理状況